（平成30年度）

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市小松島児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人ＭＩＹＡＧＩ子どもネットワーク
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》　25,152人（前年度比　92.9%） 平成29年度　27,071人 平成28年度　24,219人 平成27年度　26,164人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え，その健康を増進し，情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 （　）は前年度決算額 ・　指定管理者に支払った費用　33,641千円　（ 26,585千円） ・　その他市が負担した費用　0千円　（　0千円） 《収入》 ・　使用料収入　0千円　（　0千円） ・　その他収入　0千円　（　0千円）
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート，児童館運営懇談会，児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価
（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野		所見	評価
Ⅰ	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき，設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め，職員への共通理解を図るとともに，館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については，研修や会議，チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また，地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み，施設目的の達成に努めている。	33/33
Ⅱ	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有，開館の実績，経理書類の作成，個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また，各種マニュアルの整備，施設内外の点検，毎月の避難訓練等の実施により，利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
Ⅲ	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により，建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか，施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており，安全で快適な環境が保たれている。	23/23
Ⅳ	サービスの質の向上	名札の着用，児童館だよりの発行，ホームページの更新による利用情報の提供等，利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また，各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか，意見箱の設置，アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し，施設運営に生かすなど，サービスの質の向上に努めている。	28/28
Ⅴ	施設固有の基準	児童クラブにおいては，日常的な保護者との連携を心がけている。遊びや生活の様子を連絡帳や電話，迎えの際のやりとり等を通して伝え，保護者との信頼関係づくりに努めている。日常の異年齢での集団遊び，柿もぎや畑づくり等の自然体験活動，多世代の人と関わる活動等，様々な活動を提供し，児童の健全育成に取り組んでいる。学校との連携にも努めており，定期的・日常的に情報を共有している。	18/18

三 その他特に評価すべき優れた取組み

（指定管理者の優れた取組みを評価する　加点要素）

評価すべき取組み	評価すべき理由

加点評価	－

四 評価総括

《指定管理者（ 特定非営利活動法人ＭＩＹＡＧＩ子どもネットワーク ）による自己評価》

地域に子育て支援の輪を広げていくことを目標に，今年度のテーマを「チームde子育て」と設定した。乳幼児や子ども，大人同士が気軽に関わり合いながら3つのあい（ふれあい・育ちあい・支えあい）と笑顔あふれる児童館づくりを目指し，主に次の2点に力を入れてきた。①子どもたちの豊かな感性の醸成と主体的な活動ができるよう適切な支援と環境づくりをすること（児童健全育成事業）。②子育て世代に他機関との連携による多様な交流や学びの場を提供し，子育てへの希望や自信が持てるように支援すること（子育て家庭支援事業）。

子どもたちが本物に触れられる多様な体験活動を積極的に取り入れてきた。地域の優れた技能をお持ちの方にご支援いただき，ウクレレや将棋，ダンス教室を定期的に実施している。近隣の市民センターとの共催で昔遊びや手作り工作なども実施。近くの農家で柿もぎをする活動も行ってきた。地域の方の，愛情深く丁寧な指導や関わりは子どもたちにとって大きな励みとなっている。これらの多様な体験は，子どもたちに地域の人々の温かさや地域のよさを改めて気付かせるよい機会となっている。

「19（いくじ）の日」の活動（毎月1回）は，専門の講師がわらべ歌や手遊びなどを紹介しながら親子で楽しく過ごす時間である。「ホッとひといきママのおしゃべりティータイム」も民児協との共催で毎月1回実施している。親と地域ボランティアの方々，親同士が気軽に語り合えることから，毎回好評を得ている。

「チームde子育て」は，まさに乳幼児や子どもたちが心身ともに健やかに成長していくために，親や地域の方が児童館を上手に活用しながら互いに顔の見える関係を築き共に手を携えていくことの重要性を示すものとなっている。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
平成29年度より「広げよう子育て支援の輪」を3年間の中期目標として掲げ，地域特性を踏まえながら，乳幼児から小・中・高校生，大人，地域住民までが集う児童館を目指し，運営に取り組んでいる。 子育て家庭支援事業では，登録制の幼児クラブや年齢別の定例行事，看護師等による育児相談の「サロン」や土曜日に親子で遊べる「ひろば」を定期的に実施しているほか，小学校との共催で子育て相談事業も継続して行っている。また，民生委員児童委員協議会，社会福祉協議会との共催事業として定期的に実施している「ホッとひといきママのおしゃべりティータイム」は，0歳児～未就学児親子の交流や友達づくり，情報交換の場として定着しており，世代間交流の機会ともなっている。地域の子育て支援団体とともに「新米ママのお茶っこのみ」も開催し，初めての子育ての不安や悩みなどについてゆっくりと話しあえる時間も設けるなど，子育て家庭を支援する多様な行事を提供している。児童館が地域の子育て家庭支援の拠点としての役割を果たしており，評価できる。	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室